別紙８

ソフトウェア要件

1．労働局の場所と規模

労働局名	所在地	規模		
		大（グループA）	中（グループB）	小（グループC）
北海道労働局	札幌市北区北８条西２丁目１番１号 札幌第１合同庁舎	○		
青森労働局	青森市新町２－４－２５ 青森合同庁舎			○
岩手労働局（中央通庁舎）	盛岡市中央通２丁目１番２０号あいおいニッセイ同和損保盛岡中央通ビル			○
宮城労働局	仙台市宮城野区鉄砲町１番地仙台第４合同庁舎			○
秋田労働局	秋田市山王７丁目１番３号秋田合同庁舎			○
山形労働局	山形市香澄町３丁目２番１号 山交ビル			○
福島労働局	福島市霞町１－４６ 福島合同庁舎			○
茨城労働局	水戸市宮町１丁目８－３１茨城労働総合庁舎		○	
栃木労働局	宇都宮市明保野町１番４号 宇都宮第２地方合同庁舎			○
群馬労働局	前橋市大渡町１丁目１０番７号 群馬県公社総合ビル			○
埼玉労働局	さいたま市中央区新都心１１番地２ 明治安田生命さいたま新都心ビル ランド・アクシス・タワー		○	
千葉労働局	千葉市中央区中央４丁目１１番１号 千葉第２地方合同庁舎		○	
東京労働局	千代田区九段南１－２－１九段第三合同庁舎	○		
神奈川労働局	横浜市中区尾上町５－７７－２馬車道ウエストビル		○	
新潟労働局	新潟市中央区川岸町１－５６		○	
富山労働局	富山市神通本町１丁目５番５号 富山労働総合庁舎			○
石川労働局	金沢市西念３丁目４番１号 金沢駅西合同庁舎			○
福井労働局	福井市春山１丁目１番５４号 福井春山合同庁舎			○
山梨労働局	甲府市丸の内１丁目１番１１号			○
長野労働局	長野市中御所１丁目２２－１		○	
岐阜労働局	岐阜市金竜町５丁目１３番地 岐阜合同庁舎		○	
静岡労働局	静岡市葵区追手町９番５０号 静岡地方合同庁舎		○	
愛知労働局（広小路庁舎）	名古屋市中区栄２丁目３番１号 名古屋広小路ビルヂング	○		
三重労働局	津市島崎町３２７番２ 津第２地方合同庁舎			○
滋賀労働局（御幸庁舎）	大津市御幸町６番６号			○
京都労働局	京都市中京区両替町通御池上ル金吹町４５１		○	
大阪労働局（第２庁舎）	大阪市中央区常盤町１丁目３番８号 中央大通ＦＮビル	○		
兵庫労働局	神戸市中央区東川崎町１丁目１番３号 神戸クリスタルタワー		○	
奈良労働局	奈良市法蓮町３８７ 奈良第３地方合同庁舎			○
和歌山労働局	和歌山市黒田二丁目３番３号　和歌山労働総合庁舎			○
鳥取労働局	鳥取市富安２丁目８９-９			○
島根労働局	松江市向島町１３４番１０ 松江地方合同庁舎			○
岡山労働局（第１庁舎）	岡山市北区下石井１丁目４番１号 岡山第２合同庁舎			○
広島労働局	広島市中区上八丁堀６番３０号 広島合同庁舎２号館		○	
山口労働局	山口市中河原町６番１６号 山口地方合同庁舎２号館（総務・基準・安定）			○
徳島労働局	徳島市徳島町城内６番地６ 徳島地方合同庁舎			○
香川労働局	高松市サンポート３番３３号　高松サンポート合同庁舎			○
愛媛労働局	松山市若草町４番地３ 松山若草合同庁舎			○
高知労働局	高知市南金田１番３９			○
福岡労働局	福岡市博多区博多駅東２丁目１１番１号 福岡合同庁舎新館		○	
佐賀労働局	佐賀市駅前中央３丁目３番２０号　佐賀第２合同庁舎			○
長崎労働局	長崎市万才町７－１ 住友生命長崎ビル			○
熊本労働局	熊本市春日２－１０－１ 熊本地方合同庁舎			○
大分労働局	大分市東春日町１７番２０号 大分第２ソフィアプラザビル			○
宮崎労働局	宮崎市橘通東３丁目１番２２号 宮崎合同庁舎			○
鹿児島労働局（山下町庁舎）	鹿児島市山下町１３番２１号 鹿児島合同庁舎			○
沖縄労働局	那覇市おもろまち２丁目１番１号 那覇第２地方合同庁舎			○

合計		4	12	31

※岩手労働局は平成２３年度に合庁新営のため、移設・合併予定。

※滋賀労働局は御幸庁舎と梅林庁舎を統合予定。

2. ソフトウェア導入対象機器一覧

項番	拠点名	機器名	台数	備考
1	グループA （大規模局）	RSシステムサーバA	1	
		文書管理用クライアント端末	3	
2	グループB （中規模局）	RSシステムサーバB	1	
		文書管理用クライアント端末	2	
3	グループC （小規模局）	RSシステムサーバC	1	
		文書管理用クライアント端末	1	
4	厚生労働省 上石神井庁舎	保守サーバ	1	
		パッチ配信用サーバ	1	
		統合監視サーバ	1	
		統合監視端末	1	
		保守クライアント端末	3	

なお、RSシステムを利用するクライアント端末台数は以下の通りである。
ただし、今後、適用徴収フェーズ2によるハードウェア更改に伴い、30台程度の端末増加が予定されている。

北海道労働局：82台
青森労働局　：25台
岩手労働局　：26台
宮城労働局　：28台
秋田労働局　：21台
山形労働局　：21台
福島労働局　：26台
茨城労働局　：30台
栃木労働局　：26台
群馬労働局　：28台
埼玉労働局　：47台
千葉労働局　：42台
東京労働局　：143台
神奈川労働局：70台
新潟労働局　：38台
富山労働局　：20台
石川労働局　：23台
福井労働局　：18台
山梨労働局　：19台

長野労働局　：31台
岐阜労働局　：28台
静岡労働局　：46台
愛知労働局　：87台
三重労働局　：31台
滋賀労働局　：21台
京都労働局　：42台
大阪労働局　：112台
兵庫労働局　：65台
奈良労働局　：20台
和歌山労働局：22台
鳥取労働局　：17台
島根労働局　：19台
岡山労働局　：32台
広島労働局　：42台
山口労働局　：28台
徳島労働局　：19台
香川労働局　：19台
愛媛労働局　：26台

高知労働局　：19台
福岡労働局　：66台
佐賀労働局　：21台
長崎労働局　：25台
熊本労働局　：29台
大分労働局　：21台
宮崎労働局　：19台
鹿児島労働局：25台
沖縄労働局　：17台
厚生労働省上石神井庁舎　：5台

また、下記の内容をソフトウェア共通要件とする。
- ・導入するソフトウェアは、日本語に対応した製品であること。
- ・納品対象には調達する製品に付属する取扱説明書等のドキュメント類も含むものとする。
- ・ドキュメント類は、日本語にて記載されていること。
- ・RSシステムが確実に動作する製品であること。（RSシステムの設計仕様は開示を行う）

３．個別要件（RSシステムサーバA）

項番			個別要件
1	OS	1	標準でGUI (Graphical User Interface)による管理ツールとCUI (Character User Interface)による管理ツールを有すること
		2	マルチユーザー、マルチタスク機能を有すること
		3	Webアプリケーションの開発、実行基盤を有すること
		4	標準または付属メディアより、ネットワーク負荷分散の機能を有すること
		5	ネットワーク接続機器はTCP/IPをサポートすること
		6	論理ボリューム複製機能を有すること
		7	標準でソフトウェアFW機能を有すること
		8	フォルダ単位での容量制限が可能なこと
2	データベース	1	標準機能で列レベルもしくはレコード レベルの暗号化および復号化を T-SQL ステートメントを利用して実行可能であること
		2	標準機能でディスクの使用量、クエリの統計情報、メモリや CPU、ディスクの使用状況などの情報収集と履歴データの保存 保存されている過去の履歴データからグラフィカルなレポートの作成ができること
		3	標準機能で処理に応じてメモリなどの使用量の自動調整機能を有すること
		4	標準機能でパーティション単位でインデックスの構築やバックアップ/復元、データの入れ替えが可能であること
		5	必要となる分のライセンス（プロセッサライセンスも可）を用意すること
3	Webサーバ	1	Javaアプリケーションの実行が可能であること
		2	業務単位に複数のアプリケーションを業務単位での運用管理制御として管理し、操作可能とする機構により、資源の有効利用や異常の自動復旧が可能であること
		3	アプリケーション異常（異常終了、ループ、デッドロック）を検知し、アプリケーションの再起動により自動的に業務の復旧が可能な機能を有すること
		4	アプリケーション異常（異常終了、ループ、デッドロック）が発生した場合、管理コンソールから、エラーメッセージ、診断ログを参照することが可能であること
		5	必要となる分のライセンス（プロセッサライセンスも可）を用意すること
4	バックアップソフトウェア	1	バックアップを取得するサーバのファイルシステムに対応していること
		2	搭載OSに対応していること
		3	バックアップ機に搭載されているLTOライブラリ装置に対応していること
		4	バックアップの集中管理、スケジュール管理、バックアップデータ世代管理が可能なこと
		5	フルバックアップ、差分バックアップ、増分バックアップが取得が可能なこと
		6	データベース稼働中にオンラインバックアップで取得可能なこと
		7	使用中のファイルもオンラインバックアップで取得可能なこと
		8	障害発生時に、バックアップしたテープからの容易に復旧可能なこと
5	ストレージ制御ソフトウェア	1	搭載OSに対応していること
		2	片系統のコントローラー障害の場合でも、データI/Oに支障のない機能を有していること
		3	負荷分散を行うロードバランス機能を有していること。
6	ウイルス対策ソフト	1	搭載OSに対応していること
		2	ファイル入出力通信時にファイルに含まれるウイルスを検索し、感染の検知する機能を有すること
		3	ウイルス検出時に駆除、削除、安全な場所に隔離といった機能を選択し処理することが可能であること
		4	手動及び時刻指定による、ウイルススキャン機能を有すること
7	サーバ管理ソフトウェア	1	搭載OSに対応していること
		2	ハードウェア情報が視覚的に表示できる機能を有すること
		3	ディスクや部品に障害が発生した場合にも検知し、障害箇所を視覚的に表示できること
8	無停電装置ソフトウェア	1	停電時に自動シャットダウンを実行することが可能であること。
9	統合監視ソフトウェア	1	統合監視サーバと連動して、OSおよびRSシステムの稼働監視を実施できること。
10	その他	1	OSについて、別紙8の２．ソフトウェア導入対象機器一覧に記載したクライアント台数と文書管理用クライアント端末台数の合計数のアクセスライセンスを用意すること
		2	厚生労働省が用意する、RSシステムの導入を行うこと

3．個別要件（RSシステムサーバB）

項番			個別要件
1	OS	1	標準でGUI (Graphical User Interface)による管理ツールとCUI (Character User Interface)による管理ツールを有すること
		2	マルチユーザー、マルチタスク機能を有すること
		3	Webアプリケーションの開発、実行基盤を有すること
		4	標準または付属メディアより、ネットワーク負荷分散の機能を有すること
		5	ネットワーク接続機器はTCP/IPをサポートすること
		6	論理ボリューム複製機能を有すること
		7	標準でソフトウェアFW機能を有すること
		8	フォルダ単位での容量制限が可能なこと
2	データベース	1	標準機能で列レベルもしくはレコード レベルの暗号化および復号化を T-SQL ステートメントを利用して実行可能であること
		2	標準機能でディスクの使用量、クエリの統計情報、メモリや CPU、ディスクの使用状況などの情報収集と履歴データの保存 保存されている過去の履歴データからグラフィカルなレポートの作成ができること
		3	標準機能で処理に応じてメモリなどの使用量の自動調整機能を有すること
		4	標準機能でパーティション単位でインデックスの構築やバックアップ/復元、データの入れ替えが可能であること
		5	必要となる分のライセンス（プロセッサライセンスも可）を用意すること
3	Webサーバ	1	Javaアプリケーションの実行が可能であること
		2	業務単位に複数のアプリケーションを業務単位での運用管理制御として管理し、操作可能とする機構により、資源の有効利用や異常の自動復旧が可能であること
		3	アプリケーション異常（異常終了、ループ、デッドロック）を検知し、アプリケーションの再起動により自動的に業務の復旧が可能な機能を有すること
		4	アプリケーション異常（異常終了、ループ、デッドロック）が発生した場合、管理コンソールから、エラーメッセージ、診断ログを参照することが可能であること
		5	必要となる分のライセンス（プロセッサライセンスも可）を用意すること
4	バックアップソフトウェア	1	バックアップを取得するサーバのファイルシステムに対応していること
		2	搭載OSに対応していること
		3	バックアップ機に搭載されているLTOライブラリ装置に対応していること
		4	バックアップの集中管理、スケジュール管理、バックアップデータ世代管理が可能なこと
		5	フルバックアップ、差分バックアップ、増分バックアップが取得が可能なこと
		6	データベース稼働中にオンラインバックアップで取得可能なこと
		7	使用中のファイルもオンラインバックアップで取得可能なこと
		8	障害発生時に、バックアップしたテープからの容易に復旧可能なこと
5	ストレージ制御ソフトウェア	1	搭載OSに対応していること
		2	片系統のコントローラー障害の場合でも、データI/Oに支障のない機能を有していること
		3	負荷分散を行うロードバランス機能を有していること。
6	ウイルス対策ソフト	1	搭載OSに対応していること
		2	ファイル入出力通信時にファイルに含まれるウイルスを検索し、感染の検知する機能を有すること
		3	ウイルス検出時に駆除、削除、安全な場所に隔離といった機能を選択し処理することが可能であること
		4	手動及び時刻指定による、ウイルススキャン機能を有すること
7	サーバ管理ソフトウェア	1	搭載OSに対応していること
		2	ハードウェア情報が視覚的に表示できる機能を有すること
		3	ディスクや部品に障害が発生した場合にも検知し、障害箇所を視覚的に表示できること
8	無停電装置ソフトウェア	1	停電時に自動シャットダウンを実行することが可能であること。
9	統合監視ソフトウェア	1	統合監視サーバと連動して、OSおよびRSシステムの稼働監視を実施できること。
10	その他	1	OSについて、別紙8の２．ソフトウェア導入対象機器一覧に記載したクライアント台数と文書管理用クライアント端末台数の合計数のアクセスライセンスを用意すること
		2	厚生労働省が用意する、RSシステムの導入を行うこと

３．個別要件（RSシステムサーバC）

項番			個別要件
1	OS	1	標準でGUI (Graphical User Interface)による管理ツールとCUI (Character User Interface)による管理ツールを有すること
		2	マルチユーザー、マルチタスク機能を有すること
		4	Webアプリケーションの開発、実行基盤を有すること
		5	標準または付属メディアより、ネットワーク負荷分散の機能を有すること
		6	ネットワーク接続機器はTCP/IPをサポートすること
		7	論理ボリューム複製機能を有すること
		8	標準でソフトウェアFW機能を有すること
		9	フォルダ単位での容量制限が可能なこと
2	データベース	1	標準機能で列レベルもしくはレコード レベルの暗号化および復号化を T-SQL ステートメントを利用して実行可能であること
		3	標準機能でディスクの使用量、クエリの統計情報、メモリや CPU、ディスクの使用状況などの情報収集と履歴データの保存 保存されている過去の履歴データからグラフィカルなレポートの作成ができること
		4	標準機能で処理に応じてメモリなどの使用量の自動調整機能を有すること
		5	標準機能でパーティション単位でインデックスの構築やバックアップ/復元、データの入れ替えが可能であること
		6	必要となる分のライセンス（プロセッサライセンスも可）を用意すること
3	Webサーバ	1	Javaアプリケーションの実行が可能であること
		2	業務単位に複数のアプリケーションを業務単位での運用管理制御として管理し、操作可能とする機構により、資源の有効利用や異常の自動復旧が可能であること
		3	アプリケーション異常（異常終了、ループ、デッドロック）を検知し、アプリケーションの再起動により自動的に業務の復旧が可能な機能を有すること
		4	アプリケーション異常（異常終了、ループ、デッドロック）が発生した場合、管理コンソールから、エラーメッセージ、診断ログを参照することが可能であること
		5	必要となる分のライセンス（プロセッサライセンスも可）を用意すること
4	バックアップソフトウェア	1	バックアップを取得するサーバのファイルシステムに対応していること
		2	搭載OSに対応していること
		3	バックアップ機に搭載されているLTOライブラリ装置に対応していること
		4	バックアップの集中管理、スケジュール管理、バックアップデータ世代管理が可能なこと
		5	フルバックアップ、差分バックアップ、増分バックアップが取得が可能なこと
		6	データベース稼働中にオンラインバックアップで取得可能なこと
		7	使用中のファイルもオンラインバックアップで取得可能なこと
		8	障害発生時に、バックアップしたテープからの容易に復旧可能なこと
5	ウイルス対策ソフト	1	搭載OSに対応していること
		2	ファイル入出力通信時にファイルに含まれるウイルスを検索し、感染の検知する機能を有すること
		3	ウイルス検出時に駆除、削除、安全な場所に隔離といった機能を選択し処理することが可能であること
		4	手動及び時刻指定による、ウイルススキャン機能を有すること
6	サーバ管理ソフトウェア	1	搭載OSに対応していること
		2	ハードウェア情報が視覚的に表示できる機能を有すること
		3	ディスクや部品に障害が発生した場合にも検知し、障害箇所を視覚的に表示できること
7	無停電装置ソフトウェア	1	停電時に自動シャットダウンを実行することが可能であること。
8	統合監視ソフトウェア	1	統合監視サーバと連動して、OSおよびRSシステムの稼働監視を実施できること。
9	その他	1	OSについて、別紙8の２．ソフトウェア導入対象機器一覧に記載したクライアント台数と文書管理用クライアント端末台数の合計数のアクセスライセンスを用意すること
		2	厚生労働省が用意する、RSシステムの導入を行うこと

３．個別要件（保守サーバ）

項番			個別要件
1	OS	1	標準でGUI (Graphical User Interface)による管理ツールとCUI (Character User Interface)による管理ツールを有すること
		2	マルチユーザー、マルチタスク機能を有すること
		3	Webアプリケーションの開発、実行基盤を有すること
		4	標準または付属メディアより、ネットワーク負荷分散の機能を有すること
		5	ネットワーク接続機器はTCP/IPをサポートすること
		6	論理ボリューム複製機能を有すること
		7	標準でソフトウェアFW機能を有すること
		8	フォルダ単位での容量制限が可能なこと
2	データベース	1	標準機能で列レベルもしくはレコード レベルの暗号化および復号化を T-SQL ステートメントを利用して実行可能であること
		3	標準機能でディスクの使用量、クエリの統計情報、メモリや CPU、ディスクの使用状況などの情報収集と履歴データの保存 保存されている過去の履歴データからグラフィカルなレポートの作成ができること
		4	標準機能で処理に応じてメモリなどの使用量の自動調整機能を有すること
		5	標準機能でパーティション単位でインデックスの構築やバックアップ/復元、データの入れ替えが可能であること
		6	必要となる分のライセンス5CAL（プロセッサライセンスも可）を用意すること
3	Webサーバ	1	Javaアプリケーションの実行が可能であること
		2	業務単位に複数のアプリケーションを業務単位での運用管理制御として管理し、操作可能とする機構により、資源の有効利用や異常の自動復旧が可能であること
		3	アプリケーション異常（異常終了、ループ、デッドロック）を検知し、アプリケーションの再起動により自動的に業務の復旧が可能な機能を有すること
		4	アプリケーション異常（異常終了、ループ、デッドロック）が発生した場合、管理コンソールから、エラーメッセージ、診断ログを参照することが可能であること
		5	必要となる分のライセンス（プロセッサライセンスも可）を用意すること
4	バックアップソフトウェア	1	バックアップを取得するサーバのファイルシステムに対応していること
		2	搭載OSに対応していること
		3	搭載されているLTOライブラリ装置に対応していること
		4	バックアップの集中管理、スケジュール管理、バックアップデータ世代管理が可能なこと
		5	フルバックアップ、差分バックアップ、増分バックアップが取得が可能なこと
		6	データベース稼働中にオンラインバックアップで取得可能なこと
		7	使用中のファイルもオンラインバックアップで取得可能なこと
		8	障害発生時に、バックアップしたテープからの容易に復旧可能なこと
5	ウイルス対策ソフト	1	搭載OSに対応していること
		2	ファイル入出力通信時にファイルに含まれるウイルスを検索し、感染の検知する機能を有すること
		3	ウイルス検出時に駆除、削除、安全な場所に隔離といった機能を選択し処理することが可能であること
		4	手動及び時刻指定による、ウイルススキャン機能を有すること
		5	ウイルス対策ソフトを導入する機器に対して、適用されているパターンファイルのバージョン及びウイルス検知状況を確認する機能を有すること
6	サーバ管理ソフトウェア	1	搭載OSに対応していること
		2	ハードウェア情報が視覚的に表示できる機能を有すること
		3	ディスクや部品に障害が発生した場合にも検知し、障害箇所を視覚的に表示できること
7	統合監視ソフトウェア	1	統合監視サーバと連動して、OSおよびRSシステムの稼働監視を実施できること。
8	その他	1	OSについて、別紙8の２．ソフトウェア導入対象機器一覧に記載したクライアント台数と保守クライアント端末台数の合計数のアクセスライセンスを用意すること
		2	厚生労働省が用意する、RSシステムの導入を行うこと

３．個別要件（パッチ配信用サーバ）

項番			個別要件
1	OS	1	標準でGUI (Graphical User Interface)による管理ツールとCUI (Character User Interface)による管理ツールを有すること
		2	マルチユーザー、マルチタスク機能を有すること
		3	標準または付属メディアより、ネットワーク負荷分散の機能を有すること
		4	ネットワーク接続機器はTCP/IPをサポートすること
		5	論理ボリューム複製機能を有すること
		6	標準でソフトウェアFW機能を有すること
		7	フォルダ単位での容量制限が可能なこと
2	バックアップソフトウェア	1	バックアップを取得するサーバのファイルシステムに対応していること
		2	搭載OSに対応していること
		3	バックアップ機に搭載されているLTOライブラリ装置に対応していること
		4	バックアップの集中管理、スケジュール管理、バックアップデータ世代管理が可能なこと
		5	フルバックアップ、差分バックアップ、増分バックアップが取得が可能なこと
		6	データベース稼働中にオンラインバックアップで取得可能なこと
		7	使用中のファイルもオンラインバックアップで取得可能なこと
		8	障害発生時に、バックアップしたテープからの容易に復旧可能なこと
3	ウイルス対策ソフト	1	搭載OSに対応していること
		2	ファイル入出力通信時にファイルに含まれるウイルスを検索し、感染の検知する機能を有すること
		3	ウイルス検出時に駆除、削除、安全な場所に隔離といった機能を選択し処理することが可能であること
		4	手動及び時刻指定による、ウイルススキャン機能を有すること
4	サーバ管理ソフトウェア	1	搭載OSに対応していること
		2	ハードウェア情報が視覚的に表示できる機能を有すること
		3	ディスクや部品に障害が発生した場合にも検知し、障害箇所を視覚的に表示できること
5	パッチ配布ソフト	1	各労働局のRSサーバに対して、パッチファイルを導入することが可能であること。
		2	各労働局のRSサーバに対して、パッチファイルの適用状況を確認できること。
		3	パッチの導入期日を指定することができること。
6	統合監視ソフトウェア	1	統合監視サーバと連動して、OSの稼働監視を実施できること。
7	その他	1	OSについて、別紙8の２．ソフトウェア導入対象機器一覧に記載したクライアント台数と文書管理用クライアント端末台数の合計数のアクセスライセンスを用意すること

３．個別要件（統合監視サーバ）

項番			個別要件
1	OS	1	標準でGUI (Graphical User Interface)による管理ツールとCUI (Character User Interface)による管理ツールを有すること
		2	マルチユーザー、マルチタスク機能を有すること
		3	標準または付属メディアより、ネットワーク負荷分散の機能を有すること
		4	ネットワーク接続機器はTCP/IPをサポートすること
		5	論理ボリューム複製機能を有すること
		6	標準でソフトウェアFW機能を有すること
		7	フォルダ単位での容量制限が可能なこと
2	バックアップソフトウェア	1	バックアップを取得するサーバのファイルシステムに対応していること
		2	搭載OSに対応していること
		3	バックアップ機に搭載されているLTOライブラリ装置に対応していること
		4	バックアップの集中管理、スケジュール管理、バックアップデータ世代管理が可能なこと
		5	フルバックアップ、差分バックアップ、増分バックアップが取得が可能なこと
		6	データベース稼働中にオンラインバックアップで取得可能なこと
		7	使用中のファイルもオンラインバックアップで取得可能なこと
		8	障害発生時に、バックアップしたテープからの容易に復旧可能なこと
3	ウイルス対策ソフト	1	搭載OSに対応していること
		2	ファイル入出力通信時にファイルに含まれるウイルスを検索し、感染の検知する機能を有すること
		3	ウイルス検出時に駆除、削除、安全な場所に隔離といった機能を選択し処理することが可能であること
		4	手動及び時刻指定による、ウイルススキャン機能を有すること
4	サーバ管理ソフトウェア	1	搭載OSに対応していること
		2	ハードウェア情報が視覚的に表示できる機能を有すること
		3	ディスクや部品に障害が発生した場合にも検知し、障害箇所を視覚的に表示できること
5	統合監視ソフトウェア	1	保守サーバ、パッチ配信用サーバ及び各労働局に設置されたRSサーバの監視状況を確認できること。

３．個別要件（文書管理用クライアント端末）

項番			個別要件
1	OS	1	標準でGUI (Graphical User Interface)による管理ツールとCUI (Character User Interface)による管理ツールを有すること
		2	マルチユーザー、マルチタスク機能を有すること
		3	システム管理機能、ユーザー管理機能の操作をGUIで行うことができること
		4	RSシステムが稼働するOSを納入すること
		5	バージョンアップが可能であること
2	OAソフトウェア	1	ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、データベースソフトを含んでいること
		2	RSシステムが稼働するソフトであること。
		3	ライセンスはボリュームライセンスにて提供されていること
		4	バージョンアップが可能であること
3	ブラウザ	1	HTTP1.1に対応していること
		2	SSL3.0に対応していること
		3	TLS1.0に対応していること
		4	ダウンロードしたプログラムの署名を確認できること。
4	ウイルス対策ソフト	1	搭載OSに対応していること
		2	ファイル入出力通信時にファイルに含まれるウイルスを検索し、感染の検知する機能を有すること
		3	ウイルス検出時に駆除、削除、安全な場所に隔離といった機能を選択し処理することが可能であること
		4	手動及び時刻指定による、ウイルススキャン機能を有すること
5	スキャナ制御用ソフトウェア	1	今回導入するスキャナの制御が可能となるソフトを導入する。（スキャナに同梱されているソフトでも可）
		2	テキストから全文検索が可能になるPDFを用意すること
6	OCRソフトウェア	1	保守クライアント端末に導入するOCR開発キットに対応したランタイム製品であること

３．個別要件（保守クライアント端末）

項番			個別要件
1	OS	1	標準でGUI (Graphical User Interface)による管理ツールとCUI (Character User Interface)による管理ツールを有すること
		2	マルチユーザー、マルチタスク機能を有すること
		3	システム管理機能、ユーザー管理機能の操作をGUIで行うことができること
		4	RSシステムが稼働するOSを納入すること
		5	バージョンアップが可能であること
2	OAソフトウェア	1	ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、データベースソフトを含んでいること
		2	RSシステムが稼働するソフトであること。
		3	ライセンスはボリュームライセンスにて提供されていること
		4	バージョンアップが可能であること
3	ブラウザ	1	HTTP1.1に対応していること
		2	SSL3.0に対応していること
		3	TLS1.0に対応していること
		4	ダウンロードしたプログラムの署名を確認できること。
4	ウイルス対策ソフト	1	搭載OSに対応していること
		2	ファイル入出力通信時にファイルに含まれるウイルスを検索し、感染の検知する機能を有すること
		3	ウイルス検出時に駆除、削除、安全な場所に隔離といった機能を選択し処理することが可能であること
		4	手動及び時刻指定による、ウイルススキャン機能を有すること
5	OCRソフトウェア開発キット	1	入力画像の解像度は50dpi～2400dpiに対応すること
		2	原稿サイズは600dpi時にA4版まで、400dpi時にA3版まで対応すること
		3	画像形式は、TIFF形式、BMP形式、JPEG形式、PCX形式、DCX形式に対応すること
		4	手書き、活字にて英字、数字、ひらがな、カタカナ、JIS第一水準漢字、JIS第二水準漢字の一部の認識に対応すること。
		5	チェックマークのレ点、塗りつぶし、オーバーライトマークの認識に対応すること
		6	ライセンスについては、操作する1台分のみ用意することとする。
6	OCRソフトウェア	1	OCR開発キットに対応したランタイム製品であること
7	スキャナ制御開発用ソフトウェア	1	今回導入するスキャナの制御が可能となるソフトを導入する。
		2	アプリケーションから直接スキャナー制御が可能となる機能を有すること
		3	ファイル編集・生成機能、OCR機能（ゾーン、全文）、自動ファイル名付与の機能を有すること
		4	ライセンスについては、操作する1台分のみ用意することとする。

３．個別要件（統合監視端末）

項番			個別要件
1	OS	1	標準でGUI (Graphical User Interface)による管理ツールとCUI (Character User Interface)による管理ツールを有すること
		2	マルチユーザー、マルチタスク機能を有すること
		3	システム管理機能、ユーザー管理機能の操作をGUIで行うことができること
		4	RSシステムが稼働するOSを納入すること
		5	バージョンアップが可能であること
2	OAソフトウェア	1	ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、データベースソフトを含んでいること
		2	RSシステムが稼働するソフトであること。
		3	ライセンスはボリュームライセンスにて提供されていること
		4	バージョンアップが可能であること
3	ウイルス対策ソフト	1	搭載OSに対応していること
		2	ファイル入出力通信時にファイルに含まれるウイルスを検索し、感染の検知する機能を有すること
		3	ウイルス検出時に駆除、削除、安全な場所に隔離といった機能を選択し処理することが可能であること
		4	手動及び時刻指定による、ウイルススキャン機能を有すること
4	統合監視ソフトウェア	1	統合監視サーバへアクセスし、保守サーバ、パッチ配信用サーバ及び各労働局に設置されたRSサーバの監視状況を確認できること。